

- ・巻頭コラム「第三者の料理」
- ・お知らせ（当会のライトバンが市民バスとして活用、スタッフ加入、河川敷のクリーンアップ）
- ・太陽と緑の会助成事業報告
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2009年4月 131号

— 第三者の料理 —

杉浦 良

この3月に、名古屋のNPO法人の方が、障がい者の自立に向けた事業に取り組んでいる団体・事業所の事例集作成のため、インタビューにこられました。編集したものを校正して欲しい、とメールを頂きました。項目別に山ほどの語り言葉の中から拾い出された文章を確認していると、伝えることの難しさと、語り言葉を切りつないでいくうちに、こちらの考えていることと随分違う意味になったり、半日ほど悪戦苦闘しながら、訂正することになりました。校正作業を行いながら、あらためて、ここの活動の再確認ができればと思いました。

小タイトルは●「経営者」の横顔、●太陽と緑の会のはじまり 25年前から「障がい者の自立」筋ジストロフィーの運動からの出発、●太陽と緑の会のコンセプトと特徴（工夫）

1. なぜリユース・リサイクル？ 公的資金をなるべくもらわない選択肢 人もモノも活かされる街づくり 当時は「ゴミ屋さん」というネガティブなイメージ

2. どうやってリユース・リサイクル？ 選択肢の多い作業工程 年間7000件、1000トン

をリユース・リサイクル 助け合いの「リサイクル」、●太陽と緑の会が考える障害者の自立 機能的に見るのではなく、一人の人間として見る 人材育成は、細く、長く 福祉はスペシャリストではなく、ジェネラリスト 己を知る ●これから・・・

以上が事例集としてくられたタイトル、見出しです。この文章は私が書いたものでなく、インタビューをあくまで編集者の切り口で切り取っただけに、マンネリ化した私のものとは違い、自分でもギョとします。ここでその一部を紹介します。



イラスト 宇津君



●太陽と緑の会が考える障がい者の自立

機能的に見るのではなく、一人の人間として見る

太陽と緑の会は、当初から、知的・身体・精神領域の3つの障がいの縦割りの垣根を越えてやってきました。地域には色々な障がいの人たちが暮らしているのが当たり前で、それを分類して集めて対応する方が効率的だと考えるのは、社会全体を考えればむしろマイナス面が多いと考えてきました。「割れ鍋綴じ蓋論」と勝手に呼んでいますが、色々な障がい領域の方々が協力して、全体として活動を担うやり方をここで実践しています。「共生」とか「インクルージョン」とか言われていますが、トータル的に考えるのではなく、障がいの種別や機能別に、障がい者が捉えられているように思います。

人材育成は、細く、長く

工程表に従うのではなく、一人ひとりに合わせて仕事を行い、育成します。時給は高いが働く時間は短い人、時給は低いが働く時間が長い人、どちらが上でどちらが下ということではありません。持続することが大切で、続けると自信になるし、顔見知りも増えて、地域との関係性も生まれてきます。障がいを持つメンバーたちが、地域に出て仕事をしていると、たとえば挨拶ができなかったり、うまく答えられなかったりして、お客様や一般市民から叱られることがあります。叱られることで、成長していくわけです。日常活動の中で、分らない時には「分らない」と言えるように仕向けるし、そして自分が答えられないときは、答えられる誰かを連れてくるようにします。いろいろな人に叱られて、どのようにすればよいかを考えることが一番のトレーニングです。ただ余り世間の風が強すぎると自分で立つ気力もおきません。半分困って、半分は世間の風に当たる必要だと考えます。日本は、IQ 神話に流されてきた感がありますが、社会適応能力をどう高めていくかということが、とても大切だと思います。

福祉はスペシャリストではなく、ジェネラリスト

ここでは、社会福祉だけを勉強した方は要りません。福祉はスペシャリストではなくジェネラリストと私は考えています。よく大学の先生とも、

議論になってしまうことも多いですが、福祉を専門にしてしまうのはむしろ良くないのではと思っています。たとえば専門性という枠でくくると、福祉で食べるためだけの人材輩出になってしまうのではないかと危惧します。たとえば、お菓子や料理のスペシャリスト、自転車の修理技術者、木工職人といった方が福祉に関わってもらう方が、広い意味での福祉につながります。チーズ職人である職員が、障がいのあるメンバーと一緒に美味しいチーズを作り、それを販売することで職員の給料ももらえるというように、自ら運営資金を捻出することをどこかで頭に入れていないと、地域の中での次の展開は難しいのではないのでしょうか。

己を知る

工賃は時給制にしており、100~620円の幅があります。時給を設定する際には「時給ミーティング」を開催し、たとえば「今まで頑張ったから時給を10円上げて欲しい」など、メンバーと職員と一緒に話し合っ、決めていきます。毎日働いて、1ヶ月10万円近くもらうメンバーもいます。ここで一番大切なポイントは「己を知る」ということです。社会性が育っていない場合が多く、自分の評価が現実と大きく食い違ってしまうことがあります。そして職員の賞与についても、逆に障がいを持ったメンバーたちが意見を言います。

●これから

やはり一番困っている人に、必要な光が届かないのでは、それは福祉といえません。制度だけでなく、地域とつながりながら、障がい者がそれなりに自分の足で立っていける方法を、考え出していくことが必要だと思います。

以上、このようなくくりの中で、こちらの想いとはフィットしないところを加筆修正したものです。2時間ほどのインタビューを、第三者が調理すると、このような料理になりました。

お知らせ

当会のライトバンが市民バスとして活用

平成12年11月に中古で購入し、当会で様々なハンディを持ったメンバーの送迎や古紙の搬入に使用してきた日産ホームー（平成3年式・走行距離5万8000キロ・9人乗りライトバン）が、市民バスとして第3の人生を送ることになりました。

市民バスを運行するのは「徳島市民の足を守る会」で、運行エリアは、徳島市北部（吉野川北岸）の川内町及び応神町です。この辺りはバス（市バス、徳島バス）の運行本数が少なく、自家用車を利用する方が多いのですが、市民の高齢化に伴い、自動車に代わる交通手段が必要となってきたことから、市民バスの運行を計画したとのことです。

3月3日、同会より代表委員の河野さん、他2名の方が来所、太陽と緑の会より同会へ車両を寄贈させて頂きました。年式は古いですが、走行距離は少なく、メンテナンスもきちんとしてきたので、十分活用して頂けると思います。



当会で送迎等に使用してきた日産ホームー。市民バスとして第三の人生を歩むことになりました。

スタッフ加入

4月13日 下條さん（徳島県出身）が当会の専任職員として活動を始めました。新館での商品陳列準備、店内清掃・整理、衣料品の選別などの作業を、メンバーと一緒に取り組んでいます。20代の元気な女性スタッフの加入で、作業所の雰囲気も一段と活気づいてきました。

河川敷のクリーンアップ

とくしまマラソンの開催に向けて、4月17日、鮎喰川河川敷のクリーンアップを行いました。メンバー、スタッフ7名が参加、空き缶、弁当の空き箱、紙屑、ビニール類など、ゴミ袋15袋分を拾いました。また、刈払機を使用して総延長2キロメートルに渡る堤防道路沿いの草刈りも行いました。

会議・見学・実習

2月5日 第4回徳島市障害者計画・徳島市障害福祉計画策定市民会議 当会代表の杉浦が委員として出席。

2月26日、27日 サービス管理責任者研修 太陽と緑の会リサイクル作業所所長小山修了

3月24日 とくしま県民環境会議 クリーン・リサイクル推進部会 総務企画委員会（於：徳島県庁）に当会代表杉浦が出席

3月26日 NPO法人壮生より4名の方がNPO法人太陽と緑の会のリサイクルシステムなどを見学。

4月4日 国府養護学校高等部1年生 柴田君 親子で1日体験実習



オーリックは戦闘機パイロットが初めての飛行練習機です。

文・イラスト
藤田さん

太陽と緑の会 助成事業報告(H20)

第30回助成

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙、鉄屑、空き缶、ウエス1キロに対し6円、廃食油1キロに対して12円）平成19年度後期分35万1400円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる下記の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。

①障害者地域福祉活動への助成

NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター（地域活動支援センターの運営など）（徳島市）5000円

NPO法人アトリエひまわり（地域活動支援センターの運営など）（センター建物の耐震補強・改修費用支援として）5万円

社会福祉法人 ハートランド（就労継続支援B型事業所の運営など）（リニューアルオープンに対する支援として）5万円
徳島県精神障害者家族会連合会 1万円

②社会福祉活動への助成

大阪釜ヶ崎喜望の家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）1万円

NPO法人佐賀県難病支援ネットワーク（難病患者の支援、医療福祉の向上等を目指す活動）5000円

③国際協力活動への助成

ドキュメンタリー映画「チョコラ」（小林茂監督）劇場公開支援 5万円

モヨチルドレンセンター（ナイロビマラソン・チャリティランへの寄付として）3万3000円

徳島県国際交流協会 5000円

④社会教育活動への助成

社団法人日本青年奉仕協会（青少年ボランティア活動の育成・推進。青年長期ボランティア計画など） 5万円

⑤環境保全活動への助成

NPO法人吉野川みんなの会（可動堰に代わる住民案作りを目指す活動）3万円

NPO法人吉野川みんなの会（徳島の青年が「川の全国シンポジウム～淀川からの発信～」へ参加するための費用サポートとして）5000円

⑥その他の活動への助成

日本NPOセンター（NPOの社会的基盤の強化を図る活動） 1万円

シーズ（市民活動を支える制度を作る会）3万円

日本赤十字社徳島県支部（岩手・宮城内陸地震義捐金として） 3000円

全国PHP友の会 4000円

振込手数料 1790円

不足分の390円は緊急助成予備費より充当

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回行っており、助成総額は15年間で計904万7963円となりました（平成21年4月27日現在）。一民間団体としてのささやかな支援事業を今後とも続けていきたいと思っております。

当会の活動をご支援下さった皆様

§2009年2月1日～2009年3月31日§（紙面の都合上、敬称は略させていただきます）

ご寄付下さった皆様方

匿名、藤田、都築、岡田、山田、匿名（以下郵便振替口座にご入金下さった方）北岡、三代田、杉浦

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた方々

○徳島市○松本、長田、平野、鈴木、フォトハラダ、田辺、川村、西林、木村、方上クリニック、東倉、矢野、金山、川野、島浦、松島、日下、山川、徳塾、藪原、ハナブリ、工藤、井上、米田、長谷部、岡本、田中、高橋、岡川、古川、猪子、渡辺、福田時計店、高石、福田、橋本、弘田、美間、金山、内輪、新居、藤田、竹原、長谷川、明石、平松、宇野、猪俣、沖洲放課後クラブ、平岡、森上、村川、金沢、永松、岡沢、パソQ、立石、坂東、沖、佐藤、大西、藤井、江本、福田、山本、小山、斉藤、中西、高木、笠谷、小田、神崎、吉田、藤本、桐本、竹内、大坂、森、市原、早見、木村、増本、吹田、富永、関口、村沢、寺亜、中川、榊原、ユニオン測量設計、三橋、(株)エーペックス、笠井、久住、佐々木、金沢、カンガルー歯科、笹森、林、杉田、立石、宮田、吉岡、山田、長谷川、四国公法社、鈴木、エルダリーガーデン、渡辺、佐藤、満田、川越、山住、白石坂野、糸林、木元、八万コミュニティセンター、八巻、中野、田原、新見、橋本、久野、南部、家段、松永、生島、阿部、小森、松原、岡田、杉山、河原、金野、国見、尾崎、元木、田口、本田、福良、小倉、黒田、矢野、河野、管原、長谷部、山本、前川、FC英語教室、○石井町○白石、山口、三木、福原、細井○吉野川市○松崎、三瀬、西麻植小学校○北島町○桧恒○鳴門市○鳴門第一小学校

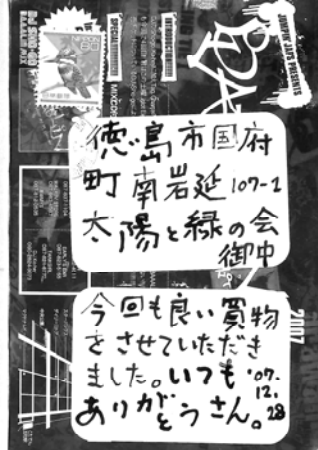
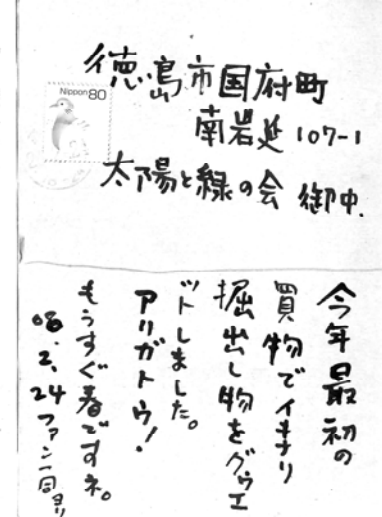
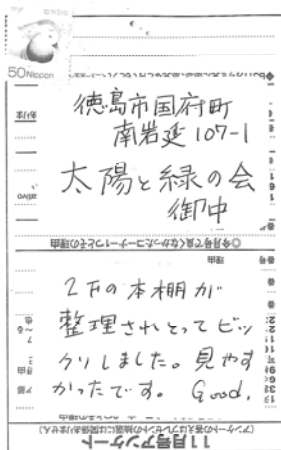
品物を持って来て下さった方々

○徳島市○古谷、山本、仁木、田中、高橋、富永、生島、谷、金谷、小寺、桑原、松本、稲垣、野村、宮内、木村、生駒、後藤、日下、渡辺、河野、中村、中東、中野、大塚、長楽、近藤、一心運輸、大久保、相原、金沢、浅川、寺内、村上、堀、坂東、福田、東、森本、藤田、井上、吉田、新川、横井、幸田、相原、長谷川、斉藤、桂、川上、日川、三浦、松永、林、藤原、大櫛、正木、田和、森口、門田、西、大川、鍋島、上山、山岡、笹原、張、乙武、宮本、野口、岡田、井貝、南無なむ堂、賀好、久米川、長谷部、山下、石山、谷口、清水、竹本、曾木、久保、山内、和田、奥村、浅野、森口、山城、宮崎、小川、木元、JSセンター、上田、松下、田山、宇野、遠藤、庄野、楠、松田、藤本、樋口、佐々木、泰、木内、部家、杉原、沖津、松尾、日出、中園、井内、中川、日下、荒川、吉岡、大島、明石、大黒、元木、亀谷、野澤、岡山、一橋、高木、野沢、牧、森内、田中、原田、前田、井原、佐藤、笹山、阿部、松永、イワセ、杉井、笠井、大西、松尾、根本、田中、中園、佐賀、早見、岡部、水口、田村、中原、福住、石山、森本、市原、藤原、汀、堀江、坂本、池村、若木、後藤、山口、須見、委託販売の店、岩崎、新居、福田、福永、瀧本、小塚、力安、森上、臼井、木村、村上、梶井、栗本、宇野、原田、土居、山下、阿部、榊原、杉本、中島、阿波商事(株)、岡部、和田、下藤、西浦、齋藤、井原、曾木、豊田、篠原、精木、津田、弘田、山元、浮津、山花、森垣、平尾、西川、長谷川、大西、藤田、木内、八十川、福山、深谷、東、金澤、日下、照屋、田野、吉元、森口、中川、佐々木、三野、小寺、飼場、齊村、住谷、田所、上本、宮内、横山、近江、荒木、笠谷、吉田、内田、松村、炭谷、大下、早川、原、梶田、久住、白川、中野、田野、遠藤、庄司、尾形、生田、沖川、大石、猪児、神例、平田、柏、松浦、竹口、羽野、柴田、岩瀬、谷、吉田、加藤、中村、清水、荒川、荒川、川田、種田、長浜、中西、(有)弘進、乾、大下、櫻庭、井元、桑折、市原、楠本、佐藤、坂野、重光、横井、松

岡、萬田、象潟、石井、熊川、多田、立花、樋口、武田、東條、藤坂、原田、喜多、矢川、芝、長楽、久米、松月、遠藤、佐々木、野田、小田、渡部、清重、大森、土肥、藤田、橋、坪井、とくしま推進センター、城西病院、木藤、平田、○藍住町○森本、中川、鳥取、前川、古林、横田、河野、三好、中川、目崎、佐々木、北岡、渡辺、大久保、横田、上西、山本、長尾、犬伏、惣田、山本、佐野、西野○小松島市○坂崎、北野、庄野、山下、浜田、○鳴門市○亀井、西村、岡本、岡山、梅本、福永、山本、田中、山口、中川、○阿波市○鳴川、岡田、前田、藤原、森本、鳴川、○石井町○久米、松月、遠藤、佐々木、野田、小田、渡部、清重、大森、土肥、藤田、梶野、橋、坪井、かさい歯科医院、林、多田、坂本、佐原、秋山、兵頭、梶野、深尾、藤本、久保、立川、森下、以西、矢車、近藤、平田、松浦○吉野川市○小山、吉田、片岡、岡田、鎌田、松下、田村、前野、富澤、金子、川野、大久保、三瀬、高鍋、新居、楡木、中西、藤本○阿南市○羽田、西本、阿部、但馬、浜、土倉、内輪○美波町○内原、ポデズワ綾子○北島町○岩瀬、大久保、西岡、鎌倉、清水、長田、間宮、森○神山町○大北、河野、香川、中原、○板野町○上田、高橋、佐野○美馬市○大西、檉葉、○松茂町○森、中野○佐那河内村○植松○上勝町○田中、加藤○上板町○快樂、楠、佐野、安芸○愛媛県○濱田○広島県○泉川○つるぎ町○吉田○海陽町○神沢○美波町○尾田○神奈川県○石黒○東京都○本田○京都市○藤原

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。中には、リサイクルショップで買取対象となる品物を当会に寄附して下さる方もおられ、本当にありがたいことと思います。頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の自立支援、ボランティア育成、他団体への支援などの活動につなげています。

また、吉田様を初め、いつも旬の農作物を無償で持って来て下さる皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。



いつも当会をご利用頂いている市民の方からのあたたかいメッセージです。

編集後記～新人からの卒業～

この春。地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にも、新しい男性メンバーのAさんとBさんが入ってきました。二人とも、養護学校高等部在学中に、当作業所で3日間の職場体験実習を何度か経験し、本人の希望で通所することに決まりました。

新人さんが入ることは、他のメンバーさんにとっても大きな刺激となります。今まで新人メンバーだったCさんは、「もうすぐ先輩やなあ」と言われても実感かわかないようでしたが、新人さんが来て、現実に直面することになりました。

当然のことながら、新人さんは分からないことだらけです。先輩メンバーのDさん(30代)もEさん(40代)も手取り足取り教えてくれます。「よう頑張ってるなあ」「助かるわ」とリップサービスの嵐です。

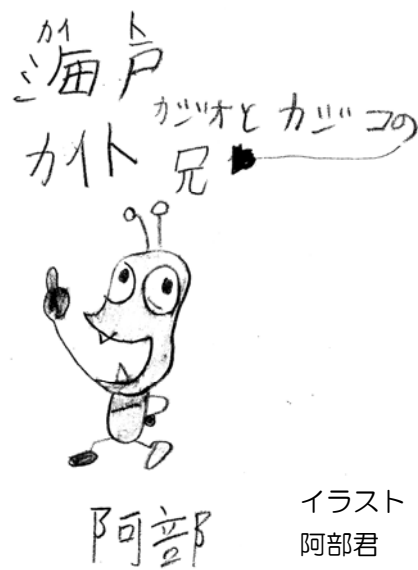
2週間くらいたって、Aさんが私にこんなことを訴えてきました。「最近、僕、よく怒られるんよ。どうしてかな? 僕も頑張っているのに」もう少し聞いてみると、「どうして最近は僕の事をあまりほめてくれないのかな? 前は毎日ほめてくれたのに」ということのようにです。

「新しくAさんとBさんが入って、Cさんも先輩になったなあ」「ええ」「先輩になると、前みたいに毎日のように、ほめてもらえなくなるんよ」「……」

「DさんもEさんも最初はほめてもらっていたけれど、後輩が入ってほめられることも少なくなった。でも時給ミーティングでは二人とも評価されて、時給はずいぶん上がったんよ」「ええ」「Cさんも、今までのようにはほめられなくなるかもしれないけれど、前に比べたら(品物の)回収(作業)でも重いものが持てるようになったし、嫌な事があってイライラしたときでも、仕事は最後まできちんとやれるようになったよね。Cさん、力ついたなあって、皆思っているよ。だから時給も上がってきたんじゃないかな。」

やさしくしてもらっている新人さんを見て「そうか、そういうことだったのか」と少しジェラシーのこもった声でつぶやく。それでもくさらずに「回収に行きます」と、毎日作業に汗を流している。

2年前、通所を始めた頃に比べ、筋肉で腕がひとまわり太くなり、心身ともにたくましくなったCさん。新人からの卒業は近いかもしれませぬ。
(小山)



特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
TEL・FAX 088-642-1054
(リユース・リサイクル、地域活動支援センター)
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703